

坂部小学校区で意見交換会を開催しました

市教育委員会の諮問機関である「学校再編計画策定委員会」が、令和2年10月29日、坂部区民センターにて、坂部小学校区の方を対象とした意見交換会を開催しました。

この意見交換会は、学校再編計画策定委員会が、再編に関し、これまで検討してきた考え方を市民に示して意見を聴き、それを踏まえて素案をつくるために開いたものです。

目指す学校像、学校区、学校の場所などについての案と考え方を伝えたあと、市民ファシリテーターの進行により、参加者がグループワークを行い、さまざまな意見を出し合いました。

参加者からは、人口の減少や老朽化、災害への安全の確保、適切なクラス数等の理由から2校に賛成する声が多く聞かれました。

質問としては、「画一的な人間形成にならないか」「なぜ2030年なのか」などが挙がりました。小中一貫校は、どんな力を育てたいかによって学習集団をつくることができ、少人数での学びや小1と中3と一緒に学ぶことなども可能となります。学びの中で多様な生き方を認めるという力を育てることが大切と回答しました。

また、なぜ2030年なのかについては、土地の用地取得等に時間が必要なこと、施設の老朽化・立地の面でさまざまなリスクをはらんでいることから、なるべく早いほうが良い。一方で、時間をかけて考える問題でもあるので、学校基本構想をつくる際に、地域・学校・保護者と話し合い、具体的な形を決めていきたいと回答しました。

限られた時間の中ですが、参加者からたくさんの意見をいただくことができました。当日、時間の関係で回答ができなかったものも含め、質問への回答については、9小学校区の意見交換会の質問をまとめてホームページで公開していきます。



グループワークでの話し合いの様子



委員長による説明



コミュニティ・スクールの取組について紹介